

2022年度 各部署の活動概要


新規

– VEに関する情報交換の場 –

VE情報交流部会

対象者: 初めて部会活動に参加する方、VE関連情報を把握したい方
主 査: 高橋 均 [ライフバリュー・クリエイティブ株式会社]

VE情報交流部会は支部活動の入り口にあたります。他の部会に参加する前に支部活動や部会活動の概要を知りたい方々、VEの導入にあたって推進組織や教育体制などの全般的な情報を把握しておきたい方々を対象にしています。まずは「社外の人とつながりを持つ」、「同じ悩みを共有する」、「アドバイスをもらう」、「得られた情報を持ち帰る」ことに重点を置き、月に1回、VEに関するさまざまな情報交換を行う場にしたいと思います。(VEの基礎知識は必要としません) 東日本支部の情報交流活動に初めて参加する方は、まずは本部会で支部全体や他の部会の取り組みをウォッチするとともにモチベーションを高め、ニーズにマッチした部会に登録する方法をお勧めします。【50歳以上の方、VES・CVS資格をお持ちの方の参加はご遠慮ください】




– VEの普及・定着と成果の拡大 –

VE推進部会

対象者: VE活動の推進、人材育成・教育研修などに携わる方
主 査: 大久保 匠 [株式会社富士通ゼネラル ビジネス推進部]

原価低減、原価企画活動等の活性化のために、VE推進に関わる課題について、月に1回、2つの研究会で活動を行っています。「VE普及推進研究会」では、普及推進のための課題の解決として、「VE活動での提案後におけるフォローアップ及び代替案の促進のためのあるべき姿、留意点」をテーマに研究していきます。「VE実践活用研究会」では、VE実践に役立つ研究として「ブレVEのオンラインでのファシリテーションを活用した実践テクニック」をテーマに研究していきます。さらに、2021年度にも実施して好評であったメンバーによる事例紹介も同時期に行い、実践研究につなげていきます。ぜひ一緒に、VE推進上の課題解決を研究していきましょう！




– プロモーションとVEの接点 –

マーケティング部会

対象者: マーケティングやVEに関心のある方(未経験者歓迎)
主 査: 神田 之裕 [リコーテクノロジーズ株式会社 経営本部]

昨年度から新しいテーマ「プロモーション」を題材に研究を始めたばかりです。マーケティングの4Pの一つ「プロモーション」について基本的な理解を進め、デジタルプロモーションに的を絞り、情報収集と機能の整理から「プロモーションのための機能別 SNS 比較表」をまとめ上げました。今年度は「プロモーションのための機能別 SNS 比較表」を検証するため、SNS活用事例の研究を行います。年度の後半では、実際に SNS のアカウントを立ち上げて試行検証を行う予定にしています。新しいテーマへのトライを始めたばかりですので、新規登録の方が入り込みやすい年度です。VE 資格をお持ちでない方も大歓迎です。ぜひ一緒に新たな VE の可能性を探しましょう！【初回キックオフ】4/20(水)13:30-15:30:オンライン会議 お待ちしております！




– 目指せ VEイノベーション –

R & D 部会

対象者: 新しいVE手法の創造、VEの実践、研究開発・設計部門の方
主 査: 野嶋 泰資 [株式会社IHI 航空・宇宙・防衛事業領域]

これからの時代に対応するため、関連手法を含めた探究・研究・開発を行い、新たな手法や価値を創造していきます。当部会では2019年度から「未来洞察」に取り組んでいます。これは、対象テーマの5～10年後を想定する「予測」と、社会や環境がどのように変化するかを想定する「洞察」を掛け合わせることで、対象テーマの将来像を描く方法論です。企画段階のVEに適用することで、予測困難な現代にも通用する、潜在的な顧客要求の抽出方法構築を目指しています。2021年度は「戸建住宅用空調システム」をテーマにケーススタディーを行い、潜在機能定義の手順や方法論の仮説設定を行いました。4年目となる2022年度は、「集大成の年」として実施手順の検証を事例研究により実施していくことを予定しています。初めて参加される方も、初めの手順の検証からのスタートとなりますので、ご参加いただきやすいと思います。遠方から参加のメンバーもあり、遠隔地からの参加も大歓迎です。顧客も気づかない近未来の機能抽出と一緒に確立していきましょう。【初回会合:4月21日(木)13:00～15:00】



– ニューノーマルを模索する –

ものづくり部会

対象者: サプライチェーン全般における「ものづくり」に携わる方
主 査: 下村 盛章 [パイオニア株式会社 MPC原価企画室]

双方向の“オンライン工場/施設見学会・技術交流会”を活動の柱に、Post コロナ/With コロナを模索します。コロナ前は現場に「行って」、現場・現物・現実を「観て」、原理・原則などを「考える(学ぶ)」活動が中心でした。コロナ以降は、ピンチをチャンスに変える企業の先進的な取り組みを紹介いただく『オンライン技術交流会』を中心に知見を広げてきましたが、次の世界を見据えた活動を考える時期に来ています。今後、コロナ前と同じ生活に戻ることはなく、VR活用など“新たな手段”が常識化するでしょう。当面はオンラインを継続しますが、先々は世界の動向を踏まえて、どのように「ものづくり」を学ぶかを考えながら活動します。ものづくりに関心があり、異業種からヒントを得たい方など、知識・経験のレベルを問わず幅広く参加を募ります。

オンライン工場/施設見学会・技術交流会
双方向のオンライン工場/施設見学会。先進企業の新技術、製品、取組み紹介と意見交換会。西日本支部を含む他の部会活動への相互参加制度を拡充。

ものづくりに関する勉強会
DX など、ものづくりに関わる新たなテーマに関する勉強会を開催。「DX 導入べからず集」の完成、および新規テーマ。



新規

– 調達の問題点を解決 –

資材調達部会

対象者: 資材・調達・購買業務に携わる方々、SCMを学びたい方
主 査: 谷口 正洋 [東京電力ホールディングス株式会社 調達企画改革G]

資材価格の高騰をはじめ、コンテナ不足やSDGsへの対応、人手不足等、最近、調達に関する困りごとが非常に増えています。VE協会の事務局にも調達関連の相談が多数寄せられているとこのことで、この部会が新たにスタートしました。スタート元年の今年度は、みなさんからの困りごとを最初にお伺いし、解決につながるような情報をお互いに交換することを計画・実施していきたいと思っています。物品調達、工事調達、委託調達、輸送調達、間接材調達などなど、「調達」に関するお悩みを抱えている方は、ぜひ、この部会にご参加くださいませ。また、部会の初年度ですので、各社のVE活用の様子も、アンケート調査してみたいと思います。調達部門でどの程度VEを活用されているのか、お互いに関心があると思います。なにはともあれ、情報交換を活発にして各社の業務上の課題を解決していきましょう！



– 事業戦略からまちづくりまで –

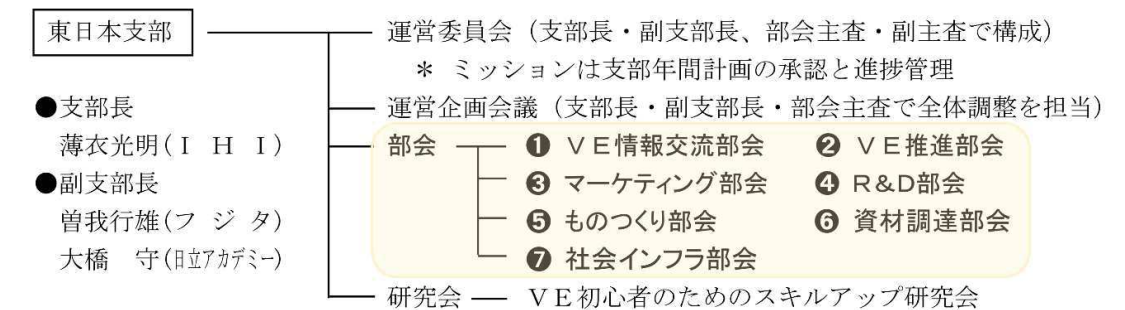
社会インフラ部会

対象者: 一般製造業や建設業など、社会インフラ全般に携わる方
主 査: 木守 岳広 [パシフィックコンサルタンツ株式会社 VEセンター]

社会インフラに携わる方々、VEを実際の業務や身の回りの題材に活用したい方々を対象として、様々な情報交換を行いつつ、下記の(A)(B)2つの分科会活動を展開します。参加メンバー相互の情報交換と技法の学習と実践を通じて、社会のニーズに応えるVE活動に必要なスキルアップを図り、社会に貢献することを目的とします。

(A)「企業ケース検討会」 ◎リーダー: IHI・薄衣
ポーター賞を受賞した企業の分析を基に、優良企業の経営ノウハウを検討します。メンバー全員で作成する優良企業の戦略体系図は、企業経営だけでなく新たな商品を検討する際に、とても役立ちます。

(B)「建設VE研究会」 ◎リーダー: パシフィックコンサルタンツ・木守
社会インフラの整備やまちづくりにVE手法を適用するための方法や手法を検討し、資料を作成します。「実際にある道の駅」をテーマに、フューチャーデザインや QFD(品質機能展開)などVE関連技法を適用し、公共事業の改善ノウハウを共有します。VE関連技法は皆で学びながら進めていきますので、初心者の方も大丈夫です。ぜひ、お気軽にご参加ください。



2022年度 東日本支部の組織体制